

高速バス利用者のための駐車場の整備 並びにバスターミナルの建設について（継続）

現在、J R 桐生駅南口からは、1 日につき名古屋・奈良・京都・大阪行き 2 往復、成田空港行き 5 往復、羽田空港行き 4 往復、仙台行き 1 往復の合計 12 往復の高速バスが運行されており、桐生市民の貴重な足となっておりますが、駐車スペースに限りがあることにより、利用客が他市のターミナルから乗車しているのが実状であります。

利用客の利便性を図ると同時に利用者の増加にもつながることから次の通り要望いたします。

- ① J R 桐生駅付近に高速バス利用者のための駐車場を早急に整備していただきたい。
- ② 市内のバス運行ルート上にバスターミナルの建設を検討いただきたい。

桐生市からの回答

高速バスの停留所がある J R 桐生駅には、42 台駐車可能な桐生駅北口駐車場（1,000 円／日）、駅周辺のコインパーキングなどの民間が設置している駐車場などがあります。最近では、南口に 39 台駐車可能なコインパーキング（500 円／日）が新たに設置されるなど、駐車場の増加が認められるところです。しかしながら、高速バス利用者専用の駐車場ではないため、必ずしも十分な台数が確保されているとは言えない状況であります。高速バス利用者の利便性向上、利用者数の増加を図るためには、十分な駐車スペースを確保することは課題の一つであると考えられます。

バスターミナルの建設につきましては、既存の J R 桐生駅南口停留所は鉄道との結節点であり、トイレやアーケードなど周辺施設の環境や、人の流れの面からもバスの拠点として定着しているところですが、市内の他の運行ルート上への建設は、交通拠点となる場所を慎重に見極める必要があります、また、駐車場などの用地確保や整備費などに課題があります。

こうしたことから、高速バスの利用状況、駐車場整備やターミナル建設による費用対効果などを考慮するとともに、他市の先進事例なども参考にし、調査・研究してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 総合政策部広域連携推進室広域連携推進担当